

令和5年度 港区政策評価シート

1 政策名・所管部門

政策No	10	政策名	豊かな国際性を生かした多文化共生社会をつくる
所管部	産業・地域振興支援部		関係部

2 政策のめざす方向性

「やさしい日本語」をはじめとした多言語による効果的な情報提供を行い、港区にいる外国人の安全・安心を確保し、快適な日常生活を実現します。日本語学習をきっかけに、外国人の地域活動への参画を促し、日本人と外国人がお互いの習慣・文化的違いを認め、地域社会の一員としてともに考え、行動し、支え合う多文化共生社会の実現をめざします。大使館や国際交流団体、国際的な企業等が集積する国際性豊かな港区の特性を生かし、多様な文化と人が共生する活力と、世界に誇れる魅力あふれる成熟した「国際都市・港区」をめざします。

SDGsとの関係					
----------	--	--	--	--	--

3 成果指標【政策について満足している区民の割合】

指標の推移		目標値		達成度 ※	※評価方法 A：中間目標値に到達しており、計画目標を達成できる可能性がある。 B：中間目標値に到達していないが、計画目標を達成できる可能性がある。 C：中間目標値に到達せず、かつ、現状値（令和元年度）も下回っているが、計画目標を達成できる可能性がある。 D：中間目標値に到達しているが、計画目標を達成できる可能性がない。 E：中間目標値を下回っており、計画目標を達成できる可能性がない。
現状値	実績	中間目標値	計画目標値		
令和元年度	令和4年度	令和4年度	令和8年度末		
31.2%	38.4%	33.7%	37.4%	A	

これまでの取組と成果
地域社会の共通言語である「やさしい日本語」をはじめとする多言語による情報発信、日本語教室の実施や大使館や民間事業者など多様な主体と連携した取り組みを通じて、外国人が地域の一員として地域住民と共に生活し、多文化共生社会の実現に取り組んでいます。

課題と今後の方向性
※未達成の場合は原因分析を含む
地域やまちづくりの活動・交流に対する関心度が減少してしまったため、コロナ禍を経て地域活動やイベント等が徐々に回復している令和5年度以降あらためて日本語学習支援を軸として地域活動に参画したり地域住民と触れ合う機会の創出に取り組まします。

4 施策の取組状況【施策評価結果】（詳細は別紙「施策評価シート」）

No	施策名	成果指標	施策評価
①	外国人の安全・安心の確保に向けた多言語による効果的な情報発信	情報発信の満足度	A
②	日本語学習をきっかけとした外国人と日本人の相互理解の促進	日本語学習・交流の満足度	A
③	多様な主体との連携強化による外国人の地域参画の推進	地域やまちづくりの活動・交流に対する関心度	A
④			
⑤			
⑥			

5 予算額・決算額・執行率（単位：千円）			
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算額	69,984	99,880	111,500
流用・補正	172	7,110	-
決算額	61,718	88,628	-
執行率	87.97%	82.84%	-

6 政策を取り巻く社会経済情勢等

計画期間中の社会経済状況等の変化 ・社会経済状況、人口動向、財政状況、国や東京都等の動向など	新型コロナウイルス感染症の影響による区内の外国人住民の減少
区民ニーズ等 ・区民意識調査 ・区民から寄せられた意見など	港区国際化に関する実態調査報告書（令和4年度実施） 外国人と日本人がともに豊かな地域社会をつくりあげるために必要な区の取り組みとして「情報の多言語化」、地域コミュニティ事業に通訳をつけるなど外国人が参加しやすい環境をつくることが求められています。

7 所管課による評価【一次評価】

政策の達成状況	新型コロナウイルス感染症の影響による区内の外国人住民の減少、あらゆる事業等の中止による交流機会の喪失のため外国人の地域参画の推進については今後の改善が必要ですが、外国人の安全・安心の確保に向けた多言語による効果的な情報発信、日本語学習をきっかけとした外国人と日本人の相互理解の促進の両施策についてはおおむね達成しました。
達成状況の要因 ・施策の有効性が高かった点 ・施策の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点など	日本語教室についてはニーズに応じて定員を増やし、希望者の日本語教室受け入れを実施したことは施策の有効性を高めた要因となりました。伸び悩んだ多様な主体との連携強化による外国人の地域参画の推進については、新型コロナウイルス感染症の状況が大きく変わった令和5年5月以降、交流や事業の機会をあらためて創出することで推進していきます。
課題と今後の方向性	港区国際化に関する実態調査報告書の結果に基づき、情報の多言語化、地域コミュニティ事業における通訳等の手配による外国人が参加しやすい環境の醸成、多言語化の普及に取り組みます。

8 港区行政評価委員会による評価【二次評価】

評価※	A：政策目的を十分に達成できる。
政策の達成度	・多言語による情報発信や、買い物など外国人が日本での生活基盤を整える日本語教室の実施については高く評価できます。 ・防災ボランティアを養成し、災害時における外国人の支援に積極的に取り組んでいることは評価できます。
今後の政策の方向性 ・重点的に取り組むべき施策など	・政策全体として、成果指標を増やすことが適正な評価につながります。 ・民間企業との更なる連携について検討が必要です。 ・日本語学習が日常生活にどの程度役立ち、効果があったかなど、フォローアップ調査をすることが必要です。 ・地域コミュニティ事業や、マンション管理組合の合意形成の場などに対して通訳を派遣することを期待します。

※評価の目安

政策評価	施策評価 (最も低い施策の評価で判断)	政策の成果指標の達成度
A：政策目的を十分に達成できる。		A
B：政策目的をおおむね達成できる。		C以上
C：政策目的を達成するために改善が必要である。		上記以外

成果指標②	指標の推移				目標値	
	現状値	実績		見込値	中間目標値	計画目標値
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和8年度末

	達成度	当該年度の取組と成果	課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			





a：予定どおり中間目標値に到達する見込みである。 b：予定どおりの成果が出ていないが、改善により中間目標値に到達する見込みである。
c：中間目標値に到達する可能性がない。 -：指標値を把握できない。

施策評価

評価	A：中間目標値に到達し、計画目標値の達成可能性がある。
施策の達成状況	昨年度よりFacebookのフォロワー数とエンゲージメント率は高くなりました。しかし、TwitterやLINEなどのSNSを活用できていません。「やさしい日本語」の研修などを通じ、庁内の多言語化を進めています。動画や写真などによる発信を実施しました。外国人の相談を受取って様々な課題を解決できました。多言語で記載している資料をまとめたコーナーに英語、中国語、ハングルに加え、さまざまな言語の資料を配架しています。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	SNSでの配信に当たり、有効性が高かった取組は区の事業も取材したことを含め、内容とフォーマットを多様化したことが要因になりました。しかし、週に一度、中国語とハングルを加えた4言語で投稿してもその言語を使用しているであろう国の方のフォロワーが少ないです。
課題と今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 港区行政情報多言語化ガイドラインで翻訳する言語としている英語、中国語、ハングル、日本語、「やさしい日本語」が話せない外国人に対してどう情報を伝えるかという課題 外国人にとってどの情報が役に立ち、必要とされているかの把握 外部団体の事業紹介の効果の把握 動画や写真撮影等を活用したより効果的な情報発信

A：中間目標値に到達し、計画目標値の達成可能性がある。
B：中間目標値に到達しないが、計画目標値の達成可能性がある。
C：中間目標値に到達せず、かつ、現状値（令和2年度）も下回るが、計画目標値の達成可能性がある。
D：中間目標値に到達するが、計画目標値の達成可能性がない。
E：中間目標値を下回り、計画目標値の達成可能性がない。

施策評価シート

政策No	10	政策名	豊かな国際性を生かした多文化共生社会をつくる		
施策No	2	施策名	日本語学習をきっかけとした外国人と日本人の相互理解の促進		
目標・期待する成果	外国人が、生活する上で必要な日本語やごみの出し方など区特有の日常生活のルール等を取得し、港区在住の約130の国籍の外国人と日本人が互いを理解し合い、地域での交流を推進することで、外国人の地域参画と協働の推進を実現します。				
SDGsのゴールとの関係	   				
施策担当課	国際化・文化芸術担当		関係課		
担当者名	黒岩	内線	2308		

1 成果指標の達成度

成果指標①	指標の推移				目標値	
	現状値	実績		見込値	中間目標値	計画目標値
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和8年度末
日本語学習・交流の満足度	—	—	63.3% (学習) 68.4% (交流)	66% (学習) 70% (交流)	66%	70%
	達成度	当該年度の取組と成果		課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和3年度	—	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度から開始した日本語教室では、毎回定員1.5～2倍の応募があり、実施後のアンケートでも9割以上の方々に満足していただけました。 令和3年度に初めて実施した事業発表会では、1年間の成果発表として、23グループ（2人1組）が発表し、51人が参加、交流しました。 		<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度に作成した動画教材を活用し、より良い授業を行えるようにします。また、定員及び開講数を増やします。 事業発表会の内容をより交流ができるものへ改善します。 ※3年に1回の実態調査で集計可能な指標のため、3年度の実績把握不可。		
令和4年度	b	<ul style="list-style-type: none"> 日本語教室の受入れ人数を30人増やすことで、定員の1.5～2倍あったニーズに応え、在住外国人に日本語学習の機会を提供しました。 外国人と日本人が日本語で話しながら交流する日本語サロンでは、令和3年度の実績を304名上回る760名が参加しました。 		<ul style="list-style-type: none"> より多くの日本語学習意欲がある外国人に学習の機会を提供するため、SNSやポスティングなど、広報手段を改善します。 参加者が定員を超える事業について、場所の確保など、受入れ環境の整備を実施します。 		
令和5年度	a	<ul style="list-style-type: none"> 日本語教室のクラスを増設し、受入れ人数を増やします。 地域で育む日本語学習支援プロジェクト参加者を対象に調査を実施し、地域参画（活動）の推進状況を把握します。 				

a：予定どおり中間目標値に到達する見込みである。 b：予定どおりの成果が出ていないが、改善により中間目標値に到達する見込みである。
c：中間目標値に到達する可能性がない。 —：指標値を把握できない。

成果指標②	指標の推移				目標値	
	現状値	実績		見込値	中間目標値	計画目標値
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和8年度末
	達成度	当該年度の取組と成果		課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和3年度						
令和4年度						
令和5年度						

a：予定どおり中間目標値に到達する見込みである。 b：予定どおりの成果が出ていないが、改善により中間目標値に到達する見込みである。
c：中間目標値に到達する可能性がない。 -：指標値を把握できない。

2 施策評価

評価	A：中間目標値に到達し、計画目標値の達成可能性がある。
施策の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 日本語教室や日本語サロンの参加者が別の活動に参加するなど、取組の中でさまざまな人との出会い、交流が生まれました。 施策の評価は、計画目標値を達成する見込みのため、Aとしました。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	日本語教室において、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施できていなかった課外活動を実施しました。課外活動参加後、地域の防災訓練に参加する受講者が出るなど、地域参画のきっかけづくりを行うことができました。
課題と今後の方向性	日本語学習を支援した結果、地域参画にどのように繋がったか、日本での生活においてどのように有効であったかを把握する必要があるため、日本語学習支援を行う事業の中で調査を実施します。

A：中間目標値に到達し、計画目標値の達成可能性がある。



B：中間目標値に到達しないが、計画目標値の達成可能性がある。

C：中間目標値に到達せず、かつ、現状値（令和2年度）も下回るが、計画目標値の達成可能性がある。

D：中間目標値に到達するが、計画目標値の達成可能性がない。

E：中間目標値を下回り、計画目標値の達成可能性がない。

施策評価シート

政策No	10	政策名	豊かな国際性を生かした多文化共生社会をつくる		
施策No	3	施策名	多様な主体との連携強化による外国人の地域参画の推進		
目標・期待する成果	世界に誇れる魅力あふれる成熟した「国際都市・港区」をめざし、大使館や国際的な取組を行っている企業などと更なる連携、協働を推進します。				
SDGsのゴールとの関係	  				
施策担当課	国際化・文化芸術担当			関係課	
担当者名	日座	内線	2565		

1 成果指標の達成度

成果指標①	指標の推移				目標値	
	現状値	実績		見込値	中間目標値	計画目標値
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和8年度末
地域やまちづくりの活動・交流に対する関心度	68%	-	63%	70%	70%	72%
	達成度	当該年度の取組と成果		課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和3年度	-	<ul style="list-style-type: none"> 各国の文化等を理解する機会を創出する、国際文化紹介展示を全4回、17の大使館等と実施しました。 中国北京市朝陽区と、高齢者及び小中学生の書画作品展示（129点）を行い、互いの文化に触れ、相互理解を深める機会を提供しました。 		<ul style="list-style-type: none"> 引き続き多くの大使館等と各国文化を紹介するイベントを実施し、様々な文化に触れる機会を提供していきます。 北京市朝陽区とは4年度からオンラインを活用した文化交流会を実施し、今まで以上に交流を行います。 ※3年に1回の実態調査で集計可能な指標のため、3年度の実績把握不可 		
令和4年度	c	<ul style="list-style-type: none"> 各国の文化等を理解する機会を創出する、国際文化紹介展示を全4回、19の大使館等と実施しました。 大使館や民間事業者と連携し赤坂サカス広場でみなとプロッサムフェスタを開催しました。そのイベントでは各国の文化を紹介していただきました。 		実際に地域参画している外国人は少ないですが、多く外国人は地域参画に興味・関心があるので、今後とも大使館等と連携して、各国文化を紹介するイベント等を実施していきます。		
令和5年度	b	コロナ禍を経てあらためてみなとプロッサムフェスタや国際友好広場、国際文化紹介展示を効果的な広報PRを通じて実施していくことで、外国人の地域参画につなげていきます。		/		

a : 予定どおり中間目標値に到達する見込みである。 b : 予定どおりの成果が出ていないが、改善により中間目標値に到達する見込みである。
 c : 中間目標値に到達する可能性がない。 - : 指標値を把握できない。

成果指標②	指標の推移				目標値	
	現状値	実績		見込値	中間目標値	計画目標値
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和8年度末
	達成度	当該年度の取組と成果		課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和3年度						
令和4年度						
令和5年度						

a：予定どおり中間目標値に到達する見込みである。 b：予定どおりの成果が出ていないが、改善により中間目標値に到達する見込みである。
c：中間目標値に到達する可能性がない。 -：指標値を把握できない。

2 施策評価

評価	A：中間目標値に到達し、計画目標値の達成可能性がある。
施策の達成状況	令和4年度からは、新たに「みなとブロッサムフェスタ」を実施するなど、民間事業者や大使館等との交流・連携を通じて、外国人の地域参画の機会を増やしました。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	新型コロナウイルス感染症の拡大による各種事業の中止・縮小
課題と今後の方向性	新型コロナウイルス感染症の影響で事業実施や交流の機会が大きく制限されました。今後は、民間事業者や大使館等との連携による国際交流を通じて外国人の地域参画をさらに推進していきます。

A：中間目標値に到達し、計画目標値の達成可能性がある。
B：中間目標値に到達しないが、計画目標値の達成可能性がある。
C：中間目標値に到達せず、かつ、現状値（令和2年度）も下回るが、計画目標値の達成可能性がある。
D：中間目標値に到達するが、計画目標値の達成可能性がない。
E：中間目標値を下回り、計画目標値の達成可能性がない。